

# 日本防災士会・新潟県支部

## 第18回定期総会 【確定版】

第18回 日本防災士会・新潟県支部の定期総会は、書面による開催と報告会で下記の通り、「成立」させていただきましたことのお知らせいたします。

2023年度は、能登半島地震の災害支援活動で防災士530名を派遣したことや80件にものぼる防災啓発活動を展開できましたことを「会員の皆様に深く感謝」いたします。

### ●総会成立

会則10条：会員の $\frac{1}{2}$ 以上の参加 122/216 (56.4%)

回答数/会員郵送総数

### ●各議案成立

○第1号議案：2023年度事業報告

○第2号議案：2023年度決算報告

○第3号議案：2024年度事業計画

○第4号議案：2024年度予算

○第5号議案：全役員留任

新任者1名

全議案について否決者無し  
全会員一致で採決されました

【オンライン総会結果報告会】 5月26日 (会場参加とオンラインの2種類)

11:00~12:00 第18回定期総会 事務局

12:00~13:00 災害食の実食と災害食とローリングストックの解説 別府顧問

13:00~14:30 能登半島地震新潟市西区での災害対応と珠洲市ボランティア報告



### 【お問合せ先】

新潟市中央区美咲町1丁目7番25号エヌシーイー株式会社内

日本防災士会・新潟県支部事務局

TEL：025-385-7701

TEL：090-2165-0200

mail：bousaisikai-niigata@nceinc.co.jp

日本防災士会・新潟県支部の令和5年度 事業報告総括

●令和6年能登半島地震の災害対応活動

- ・新潟市西区災害ボランティアセンターに防災士405名を派遣し西区社協と協働運営。
- ・新潟市宿泊避難所に毎日3名が駐在して累計75名防災士が災害被災者を支援。
- ・新潟市の小・中学生に避難行動アンケート調査して3,146票を回収。
- ・能登半島地震復興支援イベント「ミナト・イン・ワンダーランド2024」に出展。
- ・日本防災士機構より災害ボランティア用資機材50万円分の寄贈いただく。
- ・西区災害VC支援の交通費(ガソリン代)が日本財団の支援活動事業に認定。
- ・NPO石川県防災士会(石川県支部)に災害支援金10万円を寄付。
- ・能登半島地震活動支援金の募金を実施して13名様より122,972円を受領。

ご支援者様:浅見比呂志様、NPO セーフティネットぼうさい様、(社)南魚沼防災活動センター様  
八幡克哉様2回、別府茂様、山崎久様、古俣和博様、滝沢徹様、笹川裕子様2回、高橋伸絵様、  
八百正(竹石勝様)、新潟市防災士の会平井孝志会長様、松岡輝彦様(4月15日現在)

●受賞・表彰

- ・日本防災士機構「防災士功労賞(団体)」(6月22日 千代田区都市センターホテル)

受賞理由:2006年に結成された日本防災士会新潟県支部は、幅広い防災啓発活動や、自治体、防災関連団体等と連携し、地域防災力の向上と人材の育成を図り、近年は、小中学校等教育機関においても講演・各種訓練等指導に当たっている。また、2022年8月の新潟県北部における豪雨災害時には、関川村ボランティアセンターの運営に当初から最後まで一貫して尽力するなど、多年にわたり他の模範となる活動を行っている。



- ・「第47回 第四北越銀行賞(ボランティア部門)」(11月16日 長岡グランドホテル)



受賞理由:災害ボランティア活動、防災啓発活動、学校防災教育で尽力した功績。

●NHK など新聞、メディアに採り上げられる

- ・NHK 総合「明日をまもるナビ(91)BOSAI アクション」で全国放送(青柳防災士)  
<https://www.nhk.or.jp/bousai/articles/21474/>
- ・NHK 新潟放送局「トーク 610」西区災害 VC スタッフインタビュー(長濱防災士)
- ・NST 総合テレビ「今、考えよう！新潟の住まい」ぼうさいO×マン出演(高橋・狩谷防災士)
- ・新潟日報「にいがたペット Life」ペット防災グッズインタビュー記事(伊丹防災士)
- ・読売新聞「ポリ袋使い料理災害に備え学ぶ小千谷」取材記事(土田防災士)
- ・BSN ラジオ「防災士の能登半島地震対応と日頃の備え」(松岡支部長)

●受託事業の継続拡大と災害支援助成金の獲得

- ①小千谷市防災安全課からの6年間継続受注  
令和1年度36万円⇒令和5年度72万円に倍増
- ②新発田市「東豊地区コミュニティ防災まちづくり業務委託」エヌシーイー(株)  
エヌシーイー(株)からワークショップや防災夏祭りで防災士派遣 64万円を受注
- ③佐渡市「新穂地区委託事業」防災講演会や子供向け防災アトラクションで35万円を受注  
例年の個人へ日当を委託業務化
- ④イベントや講演会を事業化して22万円を受注  
中越防災安全推進機構、白根青年会議所、魚沼防災ネットワーク、胎内市建設業協会、糸魚川地域振興局健康福祉部地域保健課
- ⑤日本財団の能登半島地震災害支援助成金に応募 災害支援の交通費などで51万円を助成  
西区災害ボランティアセンター派遣防災士ガソリン代と今後の能登半島支援の交通費など

●他団体への講師派遣などによる繋がりの強化

日本防災士機構防災士認定座学講師、新潟市防災士の会スキルアップ研修講師派遣、西区地域課宿泊避難所の運営体験の講師とファシリテーター、NPOうおぬま防災ネットワークスキルアップ研修、佐渡市防災士スキルアップ研修、新穂地区防災講演会と防災アトラクション、赤泊地区防災講演、新潟市包括支援センター防災講演会、老人介護施設職員向け研修会、新潟県建築士会建築士の集いで防災ワークショップ、JAPAN サッカーカレッジとの協働で小学校のサッカー防災を普及、日本赤十字社新潟県支部との協働での自主防災会研修会など

●新規の防災啓発イベント

- 7月8日:中之口で学ぼうさい～互近助への一歩～(中之口地区体育施設)白根青年会議所
- 9月2日:アルビレックス新潟×浦和レッズ「防災デー」(デンカビックスワン)アルビレックス新潟
- 9月3日:「野球場 JA!! あそぶ BOUSAI ランド」(ハードオフecoスタジアム)日本野球連盟
- 9月23日:「福島潟自然文化祭」防災コーナー(福島潟公園)新潟市北区、福島潟指定管理者
- 10月1日:「胎内市重機パイロット選手権」(胎内スキー場)胎内市建設業協会
- 11月5日:「新潟県スポーツ公園フェスタ&防災フェア」(デンカビックスワン)スポーツ公園事務所
- 3月2日:「ミナト・イン・ワンダーランド 2024」(万代島大かま)NPO 法人新潟海洋開発

●学校防災教育事業の拡大

- 令和1年度1校から令和5年度20校へ拡大  
南万代小、万代長嶺小、坂井輪小、小針小、内野小、西内野小、内野中、大野小、小針中、小新中、五十嵐小、真砂小、白山小、笠木小、中野小屋中、潟東中、小千谷小、小千谷中、庄瀬小、十日町高校

## 2023年度 日本防災士会新潟県支部 実施一覧表

第1号議案詳細

日時		題名	主催・実施主体	場所	対象	内容
4月8日	土	新潟県支部 役員会 Zoom ハイブリット	NCE株式会社	NCE(株)大会議室	支部役員	役員全員 2022年度ふりかえり 2023年度役員素案 2023年度事業計画
4月9日	日	北信越支部連絡協議会 支部長、事務局長会議	Zoom 石川県支部	Zoom	県支部長 事務局長	各県支部の現状と課題 日本防災会の活動方針への対応
4月29日	土祝	にいがたカナル彩 人と動物(つながるって楽しいね♡)防災の輪	新潟県(共催: (公財)新潟県都 市緑花センター	新潟県スポーツ 公園 ECOスタ側第3駐 車場近く	市民369名	防災士18名 動物愛護推進員17名 ガールスカウト14名 一般ボランティア14名
5月21日	日	西区坂井中団地自治会避難訓練	西区坂井中団地 自治会	びよんびよん公園	市民50名	避難訓練に伴う防災啓発活動
5月27日	土	新潟県支部 総会 Zoom ハイブリット	NCE株式会社	NCE(株)大会議室	支部会員	会員全員 2023年度事業計画 2023年度役員決定 基調講演 松岡輝彦新支部長
6月8日	木	潟東中学校防災学習 NHK明日をまもるナビ収録あり	潟東中学校	潟東中学校	第3学年 42人	防災学習授業5.6限 NHK新潟支局 AR
6月9日	金	防災研修会	小千谷市	上ノ山分館	37名	ローリングストック ハザードマップ解説 災害への備え
6月11日	日	令和5年度北信越支部連絡協議会総会 及び研修会	福井県支部	Zoom	支部役員	14:00~14:25福井県支部長 14:30~16:00室崎益輝理事長
6月16日	金	まなぼーれぼうさい 新潟地震を風化させないプロジェクト	新潟県支部	坂井輪地区公民館	50名	新潟地震 液化化
6月17日	土	日本防災士会本部 総会 全国支部長・事務局長会議	日本防災士会 東京本部	星陵会館	全国支部長事 務局長	本部定期総会 「関川村災害VCスタッフ派遣」基 調講演
6月22日	木	日本防災士機構「防災士功労賞」(団体) の受賞式	日本防災士機構	都市センターホテル	受賞者	災害ボランティアや学校防災学 習が評価され受賞

6月22日 から5日間	木	十日町市自主防災組織リーダー研修会	十日町市	市民会館・地区 公民館・支所	5地区 約300名 防災士5名	地区防災計画の作成
6月30日	金	自主防災組織体制の役割と日頃の備え	新潟県支部	赤泊総合文化会 館 3階 多目的 ホール	町民役員70名	防災・減災スキルアップ研修会 DIG 実習
7月8日	土	中之口まつり協賛中之口で学ぼうさい～ 互近助への一歩～青年会議所協働事業	青年会議所 新潟県支部 協働	中之口総合体育 館	市民100名	日本防災用品技術研究協会 (株)明治・日本公衆電話会
7月9日	日	一般社団法人南魚沼防災活動センター 設立総会	一般社団法人南 魚沼防災活動セ ンター	南魚沼市ふれ愛 支援センター	会員20名	基調講演 新潟県支部松岡支 部長
7月14日	金	新潟市中央区ひまわりクラブの職員への 勉強会	新潟県支部	沼垂ひまわりクラ ブ第1・第2	職員30名	ハザードマップの見方 講師:古俣学校防災教育推進部 長
7月23日	日	福島県いわき市双葉郡地区震災遺構訪 問ツアー	新潟県支部	バスツアー	支部会員25名	いわき震災伝承みらい館 J'ヴィレッジ 原子力災害伝承館 浪江町請戸小学校
7月23日	日	「私たちの地区防災計画は、みんなでつく ろう」講師:別府茂(日本防災士会副理事 長・新潟県支部顧問)	魚沼市役所 うおぬま防災 ネットワーク	広神コミュニテイ センター3階	市民50名	別府顧問による講演会 うおぬま防災ネットワーク
7月29日	土	新発田市東豊地区防災講演と防災夏祭 り	新発田市役所 NCE株式会社 担当:金子泰徳	東豊コミュニテイ 防災センター	市民150名	水害をテーマに防災講演会 講師:新潟大学ト部教授 子供向けに防災夏祭り
7月30日	日	小千谷市そなえ館防災キャンドル講座	小千谷市役所	小千谷市民学習 センターそなえ館	市民35名	〇×マンクイズ じしんだんゴムシ体操
8月16日	金	いきいきサロン平成	小千谷市役所	小千谷市民会館	市民20名	ローリングストック・ハザードマッ プ解説・災害への備え
8月19日	月	JA越後おぢや女性部出前講座	小千谷市役所	グリーンパーク	職員12名	ローリングストック・ハザードマッ プ解説・災害への備え
8月27日	日	巻西中学校区防災訓練(防災祭り)	巻西中学校避難 所運営連絡会 (11地区)、新潟 市防災士の会西 蒲区支部	巻西中学校体育 館又は小ホール	市民100名	イザ!カエルキャラバンin巻西 中に併せた防災啓発、日本公衆 電話会

9月2日	土	新潟市ビッグスワンでの防災イベント アルビレックス新潟×浦和レッズ戦 県支部×新潟市防災の会コラボ	アルビレックス新潟	ビッグスワン カ ナール前	市民550名	新潟県(起震車) 新潟市(水消火器) 防災クイズ・水中歩行体験
9月3日	日	新潟市HARD OFF ECOスタジアム新潟前 での防災イベント	日本野球連盟	HARD OFF ECO スタジアム新潟	市民70名	大雨水中歩行体験 防災クイズ 水消火器体験 日本公衆電話会
9月9日	土	地区防災を考える集い	津南町中津地区 振興協議会	旧中津保育園	地域役員10名 防災士2名	地区防災計画の作成
9月12日	火	南万代小学校 防災学習	南万代小学校	教室	5年生 70名	防災啓発作成中 講師:古俣 ボランティア・昼食あり
9月12日	火	津南町中津地区地域協議会DIG	地域協議会	津南町中津集會 所	地域役員10名 防災士2名	地区防災計画の作成
9月17日	日	小千谷市防災公園 ホットプラザ祭	小千谷市生涯学 習課 小千谷市防災課	防災公園	市民50組	〇×クイズ、液状化、防災グッ ズ、日本公衆電話会
9月17日	日	めっかめっか2023	NPOひとさぼ	十日町市十じろう	累計約500人 防災士4名	市民団体紹介 NPOぼうさいの活動
9月22日	金	日本技術士会北陸支部「第1回 新潟地 区防災講演」	公益社団法人 日本技術士会北 陸本部	技術士センタービ ルⅡ 1階 知足 ホール	50名	14:20~15:00講演② 防災士による日頃の防災・減災 活動と災害ボランティア
9月23日	土 祝	第24回福島潟自然文化祭	福島潟自然文化 祭実行委員会 新潟市北区産業 振興課	ビュー福島潟周 辺	市民320組	非常持出品と備蓄(防災士会・ 明治)災害用伝言ダイヤル171 (日本公衆電話会)・ペットと一緒 に避難所体験(新潟市動物愛護 推進員)
9月23日	土 祝	TeNY防災フェア	(株)TeNY	ハイブ長岡	市民592名	ペット防災 チーム虹のリンク 共催
9月24日	日	TeNY防災フェア	(株)TeNY	ハイブ長岡		ペット防災 チーム虹のリンク 共催
9月29日	日	マイタイムライン 災害に備えましょう	小千谷市役所	千谷川福祉会	市民30名	マイタイムライン ハザードマップ解説 災害への備え

10月1日	日	新発田市東豊地区防災講演と避難所運営	新発田市役所 NCE株式会社 担当:金子泰徳	東豊コミュニティ 防災センター	市民100名	地震をテーマに防災講演会 講師:新潟大学ト部教授 自主防災組織向けワークショップ
10月1日	日	胎内市重機パイロット選手権 ～防災コーナー～	胎内市建設業協会	胎内スキー場 駐車場	市民30組	胎内市建設業協会 コラボイベント ぼうさいO×マン 防災キャンプ
10月1日	日	庄瀬地区自主防災会 総合防災訓練	庄瀬地区自主防 災会及び庄瀬小 学校	庄瀬小学校	市民100名	総合防災訓練 公衆電話会 (株)明治
10月6日	金	難病患者とご家族を対象としたマイタイム ライン教室(水害編)	糸魚川地域振興 局健康福祉部地 域保健課	大和川地区公民 館の研修室1・2	市民20名	避難情報とマイタイムライン
10月9日	祝 月	小千谷市白山運動公園 小千谷トリム・ ウォーキング大会 雨天時グリーンヒル 白山	小千谷市役所	白山運動公園	市民20組	子供向けスタンプラリー 屋外ブース出展方式
10月15日	日	新潟県・関川村総合防災訓練	避難所運営訓練 防災啓発ブース 出展	村民会館 道の駅関川 荒川河川敷	市民200名	避難所運営(関川中学校) 展示・啓発(関川どーむ) ボランティア・昼食あり
10月15日	日	小千谷市防災訓練	小千谷市役所	小千谷市立南小 中学校	市民48名	小中学生も参加 パッキング ローリングストック 非常持ち出し・ハザードマップ解説 簡易トイレの解説
10月17日	木	小千谷富久寿大学全体学習会 災害に備えましょう	小千谷市役所	小千谷市市民会 館	市民70名	ローリングストック ハザードマップ解説 災害への備え
10月22日	日	佐渡市新穂地区防災訓練(ワークショッ プ)と子供向けに防災イベント	新穂行政セン ター	新穂体育館	市民100名	子供向け防災啓発(女性) 自主防災組織向けワークショッ プ(男性) 前泊前提 佐渡市の防災士
10月22日	日	「上片貝の皆様が 防災上注意しなくてな らないことは 何でしょうか」	小千谷市防災課	上片貝公会堂	市民40名	ローリングストック ハザードマップ解説 原子力災害
10月24日	火	越後妻有防災プログラム2023	越後妻有防災 ネットワーク協議 会	十日町市立南中 学校	3学年 233名 防災士10名	トレーナー用消火訓練 濃煙体験 DVD火災・煙・有毒ガス視聴対 応

10月28日	土	西区ふれあい・あきまつり2023	西区ふれあい・あきまつり実行委員会 西区役所健康福祉課	みどりと森の運動公園	市民700名	備蓄品・非常時持ち出し品・TKB72・株式会社明治・液体ミルク・防災○×マンクイズ・福祉防災・防災かるた・日本公衆電話会
10月29日	日	新潟市防災訓練 (新潟市防災士の会)	新潟市危機管理防災局新潟市防災士の会	新潟市産業振興センターホール	市民100名	備蓄品・非常時持ち出し品・TKB72・株式会社明治 液体ミルク・防災○×マンクイズ・防災かるた・ポンチョ・日本公衆電話会
11月5日	日	新潟県スポーツ公園2023防災フェア 今年最大規模の防災コーナーを出展	新潟県(共催: (公財)新潟県都市緑花センター	ピックスワン入口付近	市民500名	パッククッキング炊出し・赤ちゃん防災～福祉防災・○✳️まんクイズ・新潟地震風化させないPJ 水消火器・ペット同行避難・ジージョ・キョージョ・防災キャンプ
11月12日	日	魚沼市防災士スキルアップ研修会(小出郷文化会館) 「女性目線の避難所運営」	NPOうおぬま防災ネットワーク	小出郷文化会館	防災士30名	日本防災士会ダイバーシティ防災推進委員 長浜裕子防災士講演
11月14日	木	小千谷小学校出前講座	小千谷市防災課	5年生	4クラス 130名	マイタイムライン教室 災害の種類 ハザードマップの見方
11月16日	木	第四北越銀行賞(ボランティア部門)受賞	第四北越銀行	長岡グランドホテル	受賞者	1977年に県内の社会福祉・災害支援活動を支援することを目的に創設
11月22日	水	居宅介護支援施設主催の介護者教室に講師派遣	居宅介護支援施設はまゆう	新潟市西区役所健康棟	職員25名	ハザードマップの解説 関川村豪雨災害時の体験
11月30日	木	「中越地震から20年を振り返る」室崎益輝氏日本防災士会理事長	一般社団法人北陸地域づくり協会	アートホテル新潟駅前4F「越後(西)」	市民70名	地域の明日を考える講演会 17:00～室崎先生と防災士の懇親会
12月2日	土	赤泊地区避難所運営ワークショップ	赤泊まちづくり協議会	赤泊総合文化会館 3階 多目的ホール	町民70名	地区防災計画 アワタラ(OurTimeline)
12月12日 12月13日	水木	小学校でJAPANサッカーカレッジの「サッカー防災」に協働	JAPANサッカーカレッジ	亀代小学校	2年生 3年生	サッカーによる防災学習 ぼうさい○✳️マン じしんだんゴムシ体操
12月13日	木	万代長嶺小学校マイタイムライン教室	万代長嶺小学校	万代長嶺小学校	4年生	マイタイムライン教室 災害の種類 ハザードマップの見方

1月1日 ～ 1月31日	31日 間連 続	新潟市西区宿泊避難所運営 新潟市初の地域住民が運営する避難所	新潟市西区	坂井輪コミュニ ティセンター	防災士 75名	宿泊避難者への支援 避難所レイアウト検討、配膳、清 掃などの生活支援
1月2日 ～ 3月10日	VC開 設日 70日 間	新潟市西区災害ボランティアセンターに 防災士スタッフの派遣支援	新潟市西区社会 福祉協議会	みどりと森の運動 公園	防災士 405名	受付班、マッチング班、ニーズ調 査班、資機材班などに派遣
1月11日	木	小千谷市土川自主防災会研修会	小千谷市	土川防災会	30名	発災時の避難、要支援者、豪雪 時、避難訓練レビュー
2月13日	火	小千谷市出前講座	小千谷市	信濃町福祉会	市民16名	災害への備え
2月18日	日	木津団地自主防災会講演	小千谷市役所	木津団地公会堂	市民20名	地区防災計画
2月18日	日	演劇で学ぼう「大切な命を守る 今すぐで きる防災を」 青柳防災士脚本	西蒲区自治協議 会	西川多目的ホー ル	市民300名	新潟地震PJ.新登場あっぱくん、 防災クイズ、ハザードマップ
2月25日	日	小千谷市パッキング体験 大豆のトマトカレー、かんたんサラダ マスク、三角巾、エプロン持参	小千谷市	そなえ館	市民20名	別府顧問講師 土田防災士講師 テーブルコーディネーター 県支部会員5名
3月1日	金	災害食ISOセミナー 「災害食の品質基準」のISO規格化に向 けて 別府顧問の講演	健康ビジネス協 議会	万代島ビル11 階 会議室	一般	講演「災害食」をめぐる最新の 状況について 別府 茂 顧問
3月2日	土	ガールスカウトのみんなにぼうさいO×マ ンの防災教室	新潟ガールスカ ウト23団	新潟市西区坂井 輪公民館	団員・保護者 14名	O×マンと助手の防災O×クイ ズ・防災リュック・備蓄説明(持ち 寄った必需品確認)・防災工作(ビ ニール袋で作るポンチョ)・アッパ 君(心肺蘇生器材)を用いた手技 法・命を守るダンゴムシ体操
3月2日	土	「ミナト・イン・ワンダーランド2024」 令和6年能登半島地震の復興支援事業	NPO新潟海洋開 発、海と日本プ ロジェクト	万代島多目的広 場(大かま)	防災士11名	非常用持出し、液状化実験、あっ ぱくん、ハザードマップ、O×クイ ズ、TKB72、新潟地震PJ
3月2日	土	新潟県建築士の集い 新潟県建築士会連携協定事業	新潟県建築士会	ニューオータニ長 岡	県建築士会	第二部「楽しく学べる防災知識～ あなたならどうする～」 防災クロスロード
3月3日	日	「ミナト・イン・ワンダーランド2024」 令和6年能登半島地震の復興支援事業	NPO新潟海洋開 発、海と日本プ ロジェクト	万代島多目的広 場(大かま)	防災士11名	非常用持出し、液状化実験、あっ ぱくん、ハザードマップ、O×クイ ズ、TKB72、新潟地震PJ

3月23日	土	NST「今、考えよう！新潟の住まい」 ぼうさい O×マンテレビ出演	新潟総合テレビ	テレビ放映	一般視聴者	非常用持出し、O×クイズ
R5年度		十日町市自主防災会委託事業	十日町市	各所	累計1,187人	自主防災会訓練指導 21回消火訓練 防災講話・救急訓練
R5年度		十日町市社会福祉協議会生活サポート 研修 救急訓練	十日町市社会福祉協議会			AED救急訓練3回 防災講話
R5年度		越後妻有防災ネット協議会例会	越後妻有防災ネット協議会			社会福祉協議会・青年会議所・ぼうさい連絡協議会 10回

# 令和6年度 事業計画

## 実施予定事業と具体的施策

### 方針

凡例：**新** 新規事業 **継** 継続事業 **追** 赤字追記事項 **削** 青字削除事項

- 継** 1. 会員ネットワークを構築し、県内の防災士活動事業の定着を図る。
- 継** 2. 社会福祉施設の避難確保計画や個別避難計画などへの取組を図る。
- 継** 3. 災害ボランティア活動の情報共有や活動実施支援（R2 から継続）
- 継** 4. ICTによる情報共有施策の実施や広報事業の実施（ハザードマップアプリ、AR・VRの普及）
- 新** 5. 会員が自由な発想でワーキンググループを発足して、主体的に防災士活動を展開する

### 事業計画

#### 1. 研修事業（継続事業・新規事業）

- ① 自治体防災研修年間委託事業（小千谷市、十日町市）
- ② 職員防災研修事業・BCP・福祉事業所の避難確保計画（民間福祉施設など）
- ③ 防災士スキルアップ事業（佐渡市、胎内市、十日町市、新潟市、小千谷市、魚沼市、**新発田市**）
- ④ 学校防災教育事業（新潟県、新潟市、聖籠町、胎内市、小千谷市、十日町市、佐渡市）
- ⑤ 自主防災会研修事業（新潟市、十日町市、小千谷市、新発田市、佐渡市）
- ⑥ 避難所運営計画・地区防災計画研修事業（新発田市東豊地区）
- ⑦ **福祉防災・ダイバーシティ防災「誰一人取り残さない防災」の推進（医療関係者との連携）**

#### 2. 連携事業（継続事業・新規事業）

- ① 北信越支部連絡協議会（福井県、石川県、富山県、長野県、新潟県） **R6 新潟県支部が幹事**
- ② 新潟県災害ボランティア調整会議（新潟県社会福祉協議会）（R1 から継続）
- ③ 地域の防災組織との協働や相互交流  
NPO セーフティネットぼうさい（十日町市）、NPO 地域活動サポートセンター柏崎（柏崎市）  
NPO うおぬま防災ネットワーク（魚沼市）、一社 南魚沼防災活動センター、**小千谷市で新設される会**
- ④ NHK 新潟放送局との連携協定（R2 から継続）
- ⑤ 新潟大学 災害・復興科学研究所との連携協定（R3 年度協定締結）
- ⑥ 新潟県「防災・減災に関する連携協定」（R3 年度協定締結）
- ⑦ （公社）新潟県建築士会との連携協定（R4 年度協定締結）
- ⑧ **新たな災害活動組織との連携と協働 にいがた災害ボランティアネットワーク 代表 李仁鉄**

3. 広報事業 (R2 から継続)

- ① 防災士PR展示活動 (新潟県支部事務局)
- ② 新潟県支部専用ホームページ・Facebook の維持管理 (新潟県支部事務局)
- ③ TV 会議システムの維持・促進 (新潟県支部事務局)
- ④ NHK 新潟放送局への出演、学校防災教育現場の取材協力、講演会取材協力、AR・VR の普及
- ⑤ 防災・減災にいがたプロジェクト 2024 への参画と協力 (新潟日報、北陸地方整備局など)
- ⑥ 新潟地震を風化させないプロジェクト (液状化実験、写真や資料のデジタル化)

4. 災害ボランティア活動の情報共有と災害ボランティア活動の活動実施支援 (R2 から継続)

- ① 新潟県社会福祉協議会、各市社会福祉協議会との連携による災害ボランティア活動の実施
- ② 被災地支援・災害ボランティア募集情報の会員への周知と災害ボランティア活動
- ③ 災害ボランティアコーディネーター養成研修会などへの参加
- ④ 能登半島地震災害支援 phase 1 (西区災害 VC 運営支援、西区宿泊避難所の運営)
- ⑤ 能登半島地震災害支援 phase 2 (珠洲市災害ボランティア、正院町避難所運営支援)

具体的施策

1.	4月29日(祝・月)カナル彩イベント 新潟市中央区清五郎 ビックスワン通路トンネル <b>出展名:「人と動物 つながるって楽しいね♡ 防災の輪」</b> 内 容: 防災啓発活動グループとの連携と協働・支援 ペット防災と防災啓発活動
2.	5月3日(金)~5日(日)NST川まつり 新潟市中央区八千代 NST 本社 2階防災コーナー <b>出展名:新潟地震60周年「新潟地震を風化させないプロジェクト」</b> 内 容: 新潟地震の資料展示、能登半島地震の写真展示、液状化実験、ハザードマップと防災アプリ
3.	5月5日(日)~6日(月)防災啓発イベント 粟ヶ岳登山道駐車場 <b>出展名:「私たちは、どう生き抜きか」防災グッズの活用と点検</b> 内 容: 防災用品、災害時の調理実践
4.	6月16日(日)「ルフル de ニコットランド」「交流」~想いを通じて繋がる~ <b>S39.6.16 新潟地震60周年「新潟地震を風化させないプロジェクト」</b> 内 容: 液状化実験、インスタントハウスにお絵描き、あっぱくん、新潟地震パネル展(語り部付き)
5.	7月15日(月・祝)北信越支部連絡協議会総会(新潟県支部幹事県) <b>柏崎刈羽原子力発電所見学</b> 内 容: 総会、各県支部の日頃の活動と能登半島地震の対応
6.	7月27日(土)日本防災士機構 研修会 in 新潟 <b>長岡技術科学大学 上村靖司 教授</b> 内 容: 防災講演、ワークショップ 防災ワクチン

## 令和6年度 事業計画

実施予定事業と具体的施策

(第3号議案)

7.	8月31日(土) 小千谷市 ひと・まち・文化共創拠点「ホントカ。」 プレオープンイベント 防災コーナー出展 内 容：未定
8.	9月21日(土)か22日(日) アルビレックス新潟×ヴィッセル神戸 アルビレックス新潟「防災デー」防災クイズスタンプラリー 内 容：防災クイズラリー、ハーフタイムにピッチ1周
9.	10月20日(土) 令和6年度新潟県総合防災訓練(南魚沼市八色の森公園周辺) 展示体験ブース、住民避難訓練の評価、ボランティアセンター運営訓練 内 容：一社)南魚沼防災活動センターとの協働も
10.	10月23日(水) 中越地震20周年イベント 防災・減災にいがたプロジェクト 内 容：未定
11.	10月27日(土) 小千谷市総合防災訓練
12.	11月9日(土) 西区ふれあい・あきまつり
13.	新規の学校防災学習申込 新潟大学附属小学校(5学年1クラス) パッククッキング体験 10月第2週 新潟大学附属小学校(4学年全体) 防災スタンプラリー 10月第2週 江南区早通小学校(全学年) 学校防災イベント ブース3 6月22日

## 研究事業

1.	「地区防災計画」の普及促進 通年 内 容：日本防災士会の最重要課題として「地区防災計画の策定」の実施を位置づけて活動 地域防災計画に関する講演会、研修、啓発活動、計画提案等を実施 実施者：事務局成川、金子 実施手法：本部の地区防災計画委員会との連携業務や講演会
2.	「S39 新潟地震を風化させないプロジェクト」通年 今年60周年です。 内 容：新潟地震の体験者に当時の状況を語ってもらい新潟地震を体験していない世代に「伝承」する活動 実施者：古俣、滝沢徹 実施手法：体験者との語らいの場を通し非体験者に伝承
3.	新潟大学 災害・復興科学研究所との連携 通年 内 容：情報共有や連携などから、防災士が災害や防災について学ぶ 機会を得る 講演会などでの質問等に学識者からの助言等を伺える様な関係を築く 実施者：事務局成川、金子、土橋 実施手法：新発田市東豊地区での講演や各種講演会の開催

# 令和6年度 事業計画

実施予定事業と具体的施策

## 4. 新潟県「新潟県版 マイ・タイムライン」の普及・促進 通年

内容：学校防災教育での活用と普及のために製作された「新潟県版 マイ・タイムライン」を使い学校防災教育現場での全県展開。地域をよく知る防災士が先生のサポート役としての普及と促進を展開

実施者：古俣学校防災教育部長 実施方法：総合学習や学校防災教育でのマイ・タイムライン導入

## 5. 新潟県との「防災・減災に関する連携協定」を有意義な活動にするための協働 通年

内容：新潟県との連携協定により、お互いの活動について連携して防災啓発活動をおこない、「県民が災害で命を失うことのない地域社会」をめざし「誰一人取り残さない社会に！SDGs」を実現する

実施者：事務局成川 実施方法：県庁や出先機関との情報交換やイベント時の協働

## 6. 「防災・減災にいがたプロジェクト 2024」への協力

2024年は新潟地震から60年、新潟焼山火山災害から50年、新潟・福島豪雨（7.13水害）及び中越大地震から20年という、多くの災害の発生から節目の年となります。その後も中越沖地震や平成23年、令和4年の豪雨など度重なる自然災害に見舞われてきました。

どのような災害が起こったのか、どういった被害があったのか、そして私たちの生活にどのような影響があったのか、その時どういう行動が命を救ったのか。このプロジェクトは、このような災害からの貴重な教訓をしっかりと次世代に継承していくことを目的としています。そして、その繋いだ教訓や記憶を自分事化し、日々の災害への備えや命を守る行動に繋がるよう取り組みます。



国土交通省・新潟県・市町村・新潟日報で構成されている実行委員会と

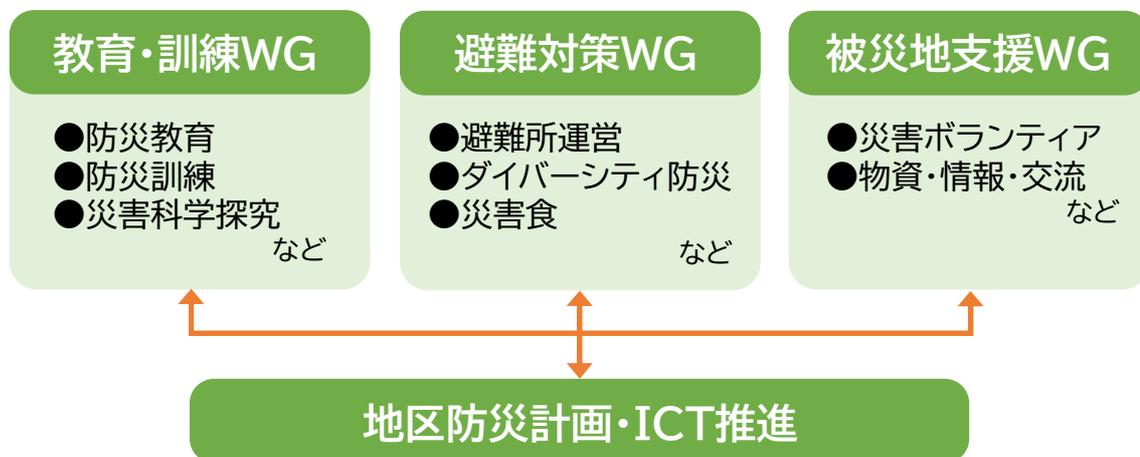
情報共有して多くの防災啓発活動をすることを目的として新潟の防災減災に協力していきます。

実施者：事務局成川 実施方法：国土交通省、県庁や出先機関との情報交換やイベント時の協働

## 7. 専門部会の主体的活動の推進と充実

新 内容：防災に関する専門分野を設けることで、会員間の防災知識や実践力を高めるとともに、広く防災意識普及・啓発を促進させる

会員が柔軟な発想でワーキンググループを発足して、主体的に防災士活動を展開する。



実施者：防災学習 WG 古俣和博 被災地支援 WG 長濱直也 福祉防災 WG 長浜裕子

実施方法：部会別 Zoom オンラインミーティングなど

(第5号議案)

NPO法人日本防災士会・新潟県支部役員（令和6年度）

役 職	氏 名	地 区	備 考
支部長	松岡 輝彦	新潟市	留任
顧 問	別府 茂	小千谷市	本部副理事長
顧 問	西潟 清二	新潟市	前支部長
副支部長	保坂 裕子	上越市	上越地区 留任
〃	関谷 照子	上越市	上越地区 留任
〃	藤木 忠雄	津南町	中越地区 留任
〃	土田 直美	長岡市	中越地区 留任
〃	高橋 伸絵	新潟市	新潟市地区 留任
〃	狩谷 明美	新潟市	新潟市地区 留任
〃	小野 貴史	胎内市	下越地区 留任
〃	中川 千恵	胎内市	下越地区 留任
〃	寺島 陽三	佐渡市	佐渡地区 留任
〃	仲川 昭子	佐渡市	佐渡地区 留任
事務局長	成川 一正	新潟市	留任
会 計	小西 良子	新潟市	留任
監査委員	岩崎 隆	佐渡市	留任
〃	土橋 佳代	新潟市	留任
学校防災 WG	古俣 和博	新潟市	留任 推進部長
福祉防災 WG	長浜 裕子	新潟市	新任 事務局推薦 推進部長
被災地支援 WG	長濱 直也	新潟市	留任 推進部長
地区防災計画 WG	金子 泰徳	新潟市	留任 推進部長
ICT 推進 WG	河野 知樹	新潟市	留任 推進部長

## 特定非営利活動法人 日本防災士会・新潟県支部 会則

(名称)

### 第1条

本会は「NPO日本防災士会・新潟県支部」と称する。

(目的)

### 第2条

本会は、NPO日本防災士会定款第38条に基づく同会の支部であり、「自助」、「共助」の原則のもと、会員のネットワークを構成し防災士としての活動と技術研鑽を支援することを目的とする。

(構成)

### 第3条

新潟県内に在住又は勤務する防災士によって構成する。

(入会及び脱会)

### 第4条

- (1) 会員は、所定の会費を納入し入会することができる。
- (2) 会員は、本人の申し出により脱会することができる。

(役員)

### 第5条

本会に次の役員を置き、もって役員会を構成する。

- (1) 支部長 1名
- (2) 推進部長 部会毎 1名 2020年度 地区防災計画推進部  
2022年度 学校防災教育推進部  
2023年度 被災地支援推進部  
2023年度 ダイバーシティ防災推進部  
(名称変更予定)
- (3) 副支部長 各地区 2名 (新潟地区・上越地区・中越地区・  
下越地区・佐渡地区)
- (4) 事務局長 1名
- (5) 会計 1名
- (6) 監査委員 2名

(名誉顧問及び顧問)

## 第6条

本会に名誉顧問・顧問を置くことができる。名誉顧問・顧問は支部長が推選する。

### (役員選出)

#### 第7条

- (1) 支部長は総会により決定する。
- (2) 副支部長は支部長が選任し、決定する。
- (3) 役員及び監事は、総会において会員中より選出する。
- (4) 役員の任期は1年とし、再任を妨げない。

### (役員の仕事)

#### 第8条

- (1) 支部長は本会を代表する。
- (2) 副支部長は支部長を補佐し、支部長事故あるときはその職務を代行する。
- (3) 事務局長は本会事務を総括する。
- (4) 地区幹事を廃止し、ワーキンググループ制を導入する。
- (5) 会計は本会会計事務を掌る。
- (6) 監査委員は事業及び会計を監査する。

### (役員会)

#### 第9条

- (1) 役員は役員会を構成し、会務を処理する。
- (2) 役員会は、総会に付議すべき事項、その他総会の議決を要しない会務の執行に関するものを議決する。
- (3) 役員会の議長は、支部長が務める。

### (総会)

#### 第10条

- (1) 総会は年1回支部長が招集し、収支及び事業報告を行う。
- (2) 臨時総会は必要に応じて支部長が招集する。
- (3) 総会は会員の2分の1以上の出席（委任状含む）をもって成立する。

### (賞罰)

#### 第11条

- (1) 会員において特に功績のあるものにおいては、役員会の議を経て表彰等を行うことができる。
- (2) 会員は防災士の品格と社会規範の保持に努めるものとする。会員において

著しくこれを損なうものは役員会の議を経て訓告、除名等を行うことができる。

- (3) 支部長または事務局責任者は支部内に設置されたメーリングリストの管理及び、支部の発行する広報紙、誌について管理責任をもつものとし、防災士としての品格にかかる内容については排除権限を持つものとする。

#### (会費)

##### 第12条

- (1) 会員は、本会の運営に必要な経費として年会費を納入しなければならない。
- (2) **会費は一口 2,000 円（振込料込み）とし、年会費の納入は一括払いとする。**
- (3) 会費については、「NPO日本防災士会・新潟県支部」事務局へそれぞれ納入するものとする。
- (4) 年度の途中加入も1年分とし、脱会時の会費の返還は行わない。
- (5) **継続して2年間会費を滞納したときは会員資格を喪失する。**
- (6) 特定非営利活動法人日本防災士会の正会員で県支部に登録した会員は、名称を「正会員」とし県支部年会費を無料とする。
- (7) 県支部のみ会員を「賛助会員」と名称変更する。

#### (会計)

##### 第13条

- (1) 本会の経費は、会費及び寄付金、その他収入をもってこれにあてる。
- (2) 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

#### (解散)

##### 第14条

本会を解散する場合は会員2分の1以上の承諾を得て、かつ総会の議決を得なければならない。

#### (残余財産の帰属)

##### 第15条

本会が解散したときに残存する財産は、総会の議決により選定された団体に譲渡するものとする。

#### (会の所在地及び事務局)

##### 第16条

- (1) 本会は事業を円滑に遂行するため、事務局を会の所在地とする。
- (2) 事務局長は役員会にて選出する。
- (3) 事務局は次の場所に置く。

〒950-0954 新潟県新潟市中央区美咲町1丁目7番25号  
エヌシーイー株式会社 内 日本防災士会・新潟県支部事務局  
TEL 025-385-7701 (事務局長 成川)  
携帯電話 090-2165-0200 (事務局長 成川)  
FAX 025-285-3531  
E-mail ; bousaisikai-niigata@nceinc.co.jp

附 則  
この会則は、設立年月日の平成18年6月18日より実施する。

附 則  
この会則は、平成19年5月20日から実施する。

附 則  
この会則は、平成23年5月29日から実施する。

附 則  
この会則は、平成26年5月24日から実施する。

附 則  
この会則は、令和 4年6月 4日から実施する。

附 則  
この会則は、令和 5年5月27日から実施する。